

平成 29 年 8 月 21 日

浜松市政記者クラブ加盟社 各位

浜松市政記者クラブ

幹事社 NHK 中日新聞

## 記者発表

- 1 日 時: 8 月 31 日(木) 11 時～
- 2 会 場: 浜松市役所 記者会見室
- 3 内 容: 講演会とパネルディスカッション「死別体験をした子どもを支えるために～グリーフと自尊感情の育み～」の開催
- 4 出席者:「子どもグリーフサポートの場を浜松にも」準備委員会  
佐々木浩則（代表）、戸倉由紀枝、他メンバー

※本件の連絡先:「子どもグリーフサポートの場を浜松にも」準備委員会(戸倉)

### ■講演会とパネルディスカッション

1:00～基調講演 高橋聡美(医学博士)、防衛医科大学校精神看護学教授

2:40～パネルディスカッション(当事者対談)

座長:西田正弘(NPO 法人子どもグリーフサポートステーション代表、あしなが育英会東北事務所長)、パネリスト:遺児代表、保護者代表(佐々木浩則/浜松市在住)ほか

・開催日時 平成 29 年 9 月 10 日(日) 午後 1:00～4:00

・会 場 浜松こども館分室ここ・い～ら

浜松市中区鍛冶屋町 100-1 ザザシティ中央館 5 階ギャラリー2

・主 催 「子どもグリーフサポートの場を浜松にも」準備委員会

<https://gskh.jimdo.com/>

・共 催 浜松市(精神保健福祉センター)、NPO 法人子どもグリーフサポートステーション、高橋聡美研究室

グリーフとは、喪失体験に伴う愛惜や悲しみなど様々な感情です。親など大切な人との死別を体験した子どもは自覚や表出・制御の難しい、生きづらさを抱えています。時間を経て子どもたちの心は癒されると周囲は思いがちですが、悲しみ、恋しさ、怒りなどさまざまな感情は消えることはないでしょう。そうした子どもたちをサポートする場を、静岡県浜松市にもつくり実施したいと考えています(浜松市以外の子どもたちもサポート対象になります)。

本講演会と子どものためのグリーフサポートについてより多くの方々に知っていただくために、報道機関の皆様のお力をお貸しいただけたら幸いです。どうぞよろしく願いいたします。